

## 市民活動支援事業の効果

「市民活動」がまちづくりにどのような効果をもたらしているのか、関係者に話を伺いました。

こうした「市民活動」が、健康の森を市民の憩いの場として育てていると思います。

みのかも健康の森 事務局長 朝日暢昭さん



みのかも健康の森にかかわる2団体が、今回の市民活動支援事業の対象になりましたが、いずれの団体もこの健康の森を市民の憩いの場となるよう本当によくお手伝いしていただいています。

「山野草の会」は、今年度活動が始まったばかりなのに、山野草の観察園をこの園内の一角に造っていただきました。木製階段や散策道の整備、野草の植え付けも、同会の皆さんの手作りです。また、園内の樹木に名札を付けられたりして、訪れた人たちが樹木に興味を持っていただき、自然保護の大切さを知っていただくことすら試みもされています。



みのかも健康の森に完成した山野草園と木製階段

「森と林の会」の皆さんは、園内の樹木の間伐や竹林の伐採など行っていたいでいます。

広い園内の樹木の手入れや管理は、この園の職員だけではとてもできません。また、予算もかなりかかると思います。それだけでなくこうして市民団体が、この森を育てていただくことにより「市民の森」という意識が高まってきたと思います。市民の皆さんに親しみをもって利用していただくには、この支援事業は、まさにタイムリーであり、こうした人たちの育成と事業の継続が必要なのではないでしょうか。

